



活動報告書

世界モスquitoデイ2017イベント



世界モスquitoデイ2017イベント
運営委員会

長崎大学熱帯医学研究所フィラリア NTD 室
ディレクター 一盛和世

世界モスキートデイ2017イベント 実施内容

1. 大人の蚊学講座

開催日：平成29年6月10日（土）13:30-16:00

会場：長崎大学医学部記念講堂（坂本キャンパス）

参加者：中学生～大人 約100人

2. 親子蚊学入門

開催日：平成29年7月28日（月）9:30-12:00

会場：長崎大学良順会館（坂本キャンパス）

参加者：幼児～大人 約100人

3. 子ども蚊学教室

開催日：平成29年8月4日（金）9:00-12:00

会場：長崎大学ポンペ会館、その他（坂本キャンパス）

参加者：小学生・中学生 35人と保護者

はじめに

1897年8月20日、イギリスの医学者ロナルド・ロスがハマダラカ蚊に刺されることによってマラリアが感染することを発見しました。これを記念して、8月20日は世界モスキートデーと呼ばれ、世界各地で蚊から感染する病気の伝搬を阻止するためのイベントが開催されています。

蚊が媒介する感染症はマラリアに代表されるように、主に熱帯地域において重大な社会問題を引き起こしていますが、グローバル化が急速に進む現代社会においては、熱帯地域のみならず日本を含めた全世界への迅速な影響拡大が懸念されています。2014年の夏に東京で起こった集団デングウイルス感染をはじめ、2016年夏季オリンピック開催地であるブラジルでの流行が大きく取り上げられたジカ熱など、日本国内においてもマスメディアを通じて蚊媒介性の病気に関する情報に触れる機会が増えてきました。多くの蚊媒介感染症に対する効果的なワクチン、治療法は確立されておらず、予防法などを正しく理解し、知識を身につけることにより、感染症のリスク軽減を図ることが重要であると考えられています。

長崎大学では、一昨年、昨年に引き続きこの世界モスキートデー（8月20日）にちなみ、世界モスキートデー 2017 イベント「大人の蚊学講座」「親子蚊学入門」「子ども蚊学教室」を開催しました。三年目の開催となる今年は大人向けの講座「大人の蚊学講座」を新設。作家・椎名誠氏をお招きし、蚊の専門家を交えての講演およびパネルディスカッションを実施しました。

また、「親子蚊学入門」では、蚊の生態を学ぶワークショップや蚊と蚊がもたらす病気とその対策について専門家が子どもたちにもわかりやすく講演を、「子ども蚊学教室」では、顕微鏡を用いた蚊の観察や分類と、実際に野外に出た蚊の採集や生態観察などを行いました。

私たち長崎大学はこの活動を通して、実際に長崎の子ども達が蚊に刺されるリスクを低減したいと考えると同時に、子ども達には世界の感染症に対してさらに興味を持ってもらい、将来、長崎から国際保健・感染症の分野で国際的に活躍できる人材に育ててほしいと考えています。

1. 大人の蚊学講座

6月10日の「大人の蚊学講座」は、市民からの要望に応え、大人を対象とした内容で開催され、約100名の参加がありました。

「蚊」「蚊學の書」など著作をもつ文学界の蚊学者 作家・椎名誠氏、蚊の専門家である国立感染症研究所昆虫医科学部部長・沢辺京子先生、東京慈恵会医科大学熱帯医学講座教授・嘉糠洋陸先生をお招きし講演、およびパネルディスカッションを実施しました。

第一部の講演会では「私の“蚊”のはなし」を共通のタイトルとして、椎名氏からは世界各地での体験を通した蚊にまつわるユーモアたっぷりの講演があり、参加者からは驚きの声も聞かれました。

また、沢辺先生には蚊がもたらす病気について画像やグラフを示しながら大変わかりやすくお話いただきました。さらに、嘉糠先生からは生き物としての蚊のお話をこちらにも動画などを交えて大変興味深いお話がありました。参加者へのアンケートからも、「初めて知った」ことや「興味深い」ことが多かったようで、「蚊」や「蚊がもたらす病気」について、新しい知識やさらなる関心を持っていただくことができました。

第二部のパネルディスカッションではヒトスジシマコも登場し、長崎大学熱帯医学研究所病害動物学分野教授・皆川昇先生の司会により「みんなの“蚊のはなし”」をテーマに会場の参加者からの質問に椎名氏、沢辺先生、嘉糠先生に答えていただく形式で進められました。参加者からは実際に蚊がもたらす感染症を身近に体験した方の話や、子どもの蚊にまつわる自由研究の話、蚊はどうやって刺すのか などなど、様々な「蚊」にまつわる質問やエピソードが発表され壇上の先生方との活発なやりとりのある充実の時間となりました。

第一部と第二部間の休憩時間中には一盛教授監修にて制作されたDVD「おわりのはじまりーリンパ系フィラリア症制圧 日本から世界へー」を上映しました。

「大人の蚊学講座」タイムスケジュール

プログラム		全体司会 一盛和世 (長崎大学熱帯医学研究所フィラリアNTD室ディレクター)
13:30-	開会	
13:40-	講演	◆テーマ「私の”蚊のはなし”」
▼	13:40	嘉糠 洋陸 (東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座 教授)
▼	14:05	沢辺 京子 (国立感染症研究所 昆虫医科学部 部長)
▼	14:30	椎名 誠 (作家)
15:20-	パネルディスカッション	◆テーマ「みんなの”蚊のはなし”」
▼	司会：皆川昇 (長崎大学熱帯医学研究所 病害動物学分野 教授)	
▼	パネラー：椎名誠、嘉糠洋陸、沢辺京子、客席	
15:55-	閉会	

パネルディスカッションには
ヒトスシシマコ
 が特別出演!



当日の様子



長崎大学医学部記念講堂



壇上では蚊がお迎え



開会 (司会 一盛先生)



熱研所長のあいさつ



講演 (嘉糠洋陸先生)



講演 (沢辺京子先生)



講演 (椎名誠氏)



パネルディスカッション



司会 皆川先生



客席からも積極的に参加



オフショット



シマコ、椎名氏をさす！？

参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ・ 初めて蚊の専門家の話を聞き、大変興味が沸きました。長崎大学でこんな専門的な研究がなされているとは知りませんでした。
- ・ デング熱や日本脳炎が日本で毎年発生している事実、椎名さんと蚊の関係も知りませんでした。
- ・ 動画で吸血の様子が見られたので新鮮でした。
- ・ ニュースで耳にする言葉を具体的に知ることができました。
- ・ 蚊のさし方が針状ではなくノコギリ状だったことを知りました。
- ・ 蚊からよくかまれるので興味があって参加しました。蚊が媒介でいろんな病気があるのがよくなりました。
- ・ 長崎にはヒトスジシマカが多いことを知りました。
- ・ ずっと北海道に住んでいたため蚊が恐ろしいものという意識がなかったです。種類によっても媒体となる感染症や活動時間場所が違うということも知らなかったです。
- ・ メスしか血を吸わないのを知らなかった。
- ・ スライドの写真で忌避剤の効果がはっきりとわかり、これまでその効果には半信半疑でしたが、積極的に使おうと思いました。
- ・ パネルディスカッションはとても面白く聞かせてもらいました。
- ・ 椎名誠さんの大ファンで大満足でした
- ・ 気軽に参加できヒトスジシマコさんのアイデアも面白かった。
- ・ この種の部外者も聴ける講義を企画してください。
- ・ 上映された古いフィラリア症の研究者に興味を持った
- ・ 椎名先生もだが、嘉糠先生や沢辺先生のお話も専門的だがわかりやすく面白かった。パネルディスカッションの質問も活発でおもしろかった。今後もこのようなイベントをしてほしい。

メディア掲載

- ・ 朝日新聞 地域・長崎(6月10日35面掲載)
- ・ 長崎新聞 ローカル(6月17日13面掲載)

2. 親子蚊学入門

7月28日の「親子蚊学入門」は、大人から子どもまでひろく、蚊の生態や特性を知ってもらうことと、蚊が媒介する感染症の存在を知り、さらに興味をもってもらうことを目的として蚊の専門家のわかりやすい話を聞いて楽しく学ぶ講演会が開催されました。開催が夏休みということから、小学生とその保護者、また中高生や一般市民のみなさんといった幅広い年齢層の参加がありました。理解度の異なる年齢層の参加に対応するため、主に小学校低学年以下を対象とした子ども向けワークショップを別室にて同時開催しました。当日は約100名の参加があり盛会となりました。

子ども向けワークショップでは、まず、昼の蚊ヒトスジシマカと夜の蚊コガタアカイエカの着ぐるみを使って寸劇を行い、基本的な蚊の生体や、蚊に刺されることでいろいろな感染症にかかるリスクがあるということを、参加者が興味を持って学べるように工夫しました。ワークショップ後半には「蚊プラ板」の工作として「蚊」の塗り絵をし、蚊の生体の特徴を感じながらオリジナルの蚊を制作しました。

講演会では、最先端の研究にも触れながら蚊の生物学的知識や生態について学べるような「蚊の話」を行いました。「昼の蚊と夜の蚊の話」では、昼と夜では活動する蚊の種類が異なり、媒介する病気も異なることや、蚊によって媒介される感染症から身を守るためには、蚊に刺されない対策を取ることが重要であるということを理解してもらいました。「蚊がはこぶ病気」の話では、蚊媒介感染症とその対策についての話をし、日本のみでなく世界中の感染症対策がどのように実施されているのかを知ってもらう機会にもなりました。

展示コーナーでは、小さなお子さんを連れのお母さんたちが忌避剤の正しい塗り方を学んだり、子ども達が蚊帳の中に入ったり、さまざまな体験に取り組んでいました。また、蚊の幼虫を手に取り、観察することで、普段何気なく見過ごしている蚊の体の構造に大変興味を持った方が多かったようです。

これらの知識を活かして、実際に身の回りのどのような場所が蚊の発生源となるのか、また、蚊の発生を防ぐためにはどのような対処方法があるのかを考え、実際の生活に生かしてもらえればと考えています。

親子蚊学入門タイムスケジュール

はじめに 9:30 - 9:40

坂本キャンパス 良順会館2階ボードインホール

ていがくねんむ さんかきぼう かい せんさい いどう
低学年向けワークショップに参加希望のみなさんは、1階の専斎ホールへ移動してください。
 がくねん めやす ていがくねんむ さんか
学年は目安です。どなたでも低学年向けワークショップに参加できます。



プログラム終了後、12:00までは1階ロビーにて自由に見学してください。

- か かんさつ きょう 蚊の観察コーナー（今日はなしをきいた蚊の成虫や幼虫が観察できるよ。）
- てんじ せかいみんぞくいしょう がつき かや さっちゆざい てんじ 展示コーナー（世界の民族衣装や楽器、蚊帳や殺虫剤が展示してあるよ。）
- しつもん きょう せんせい しつもん こた 質問コーナー（今日おはなししてくれた先生がみんなの質問になんでも答えるよ。）

当日の様子



たくさんの親子が会場へ



受付開始



幅広い年齢層の参加者



開会



子どもワークショップへ



昼の蚊と夜の蚊のはなし



前に乗り出して熱心に



病気のはなし



メモをとりながら



シマコとイエコ撮影会



この蚊の名は？



まとめのお話



シマコ&イエコ劇場



大きく手をあげて



「蚊プラ板」工作



オリジナルモスキート完成



「未来の蚊はかせ」認定



認定証と記念撮影



親子で観察



小さな子どもも興味津々



パーソナルプロテクション



展示・体験コーナー



蚊帳に触れる



異文化に触れる

参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ・ 蚊の種類が多いのにはびっくりしました。
- ・ 虫よけ、殺虫剤の新しいものが発売されていて興味深かった。蚊の発生メカニズムを勉強できてよかった。家の周り、町内を点検してみたいと思います。自治体でも回覧しようと思う。
- ・ かのしゅるい、かのおそろしさがわかった
- ・ プラ板がたのしかった、クイズがおもしろかった
- ・ 蚊の種類によってもたらされる病気が違うことをはじめて知りました。
- ・ オスとメスの見分け方をはじめて知った
- ・ 蚊といってもたくさんの種類があり、ちゃんと蚊にも個性があるんだなあと感じました。これからはたたく前に何の蚊なのかみてみようかなと思いました。
- ・ 蚊はただの迷惑虫・・ぐらいにしか思っていなかったのですが、命をうばうこともある恐ろしい虫とわかりました。「世界で一番人を殺す動物」ということにショックを受けました。しかし防ぐこともできる！上手に共存できる！ということも学習でき良い機会になりました。防ぐには蚊のこともよく知ることも大切ですね！もっと深く調べてみたいです。
- ・ 「蚊」と一言でいっても様々な種類がいること。日本にも様々な蚊がいること
- ・ 虫のびょうきについてきょうみをもった
- ・ 去年も来ました。毎年参加したいので中身の内容に変化あるとうれしいです。
- ・ 蚊の生態、予防法、病気と網羅的に話が聞けて理解がすすみました。
- ・ 蚊は身近ではありますが、知らないことばかりでした。
- ・ 講演だけでなく、クイズや展示など、あきないものばかりでとても楽しかった。今回がはじめての参加だったが来年もかいさいされるのであれば、ぜひ参加したい。

メディア掲載

- ・ 西日本新聞 おしらせ本舗 NAGASAKI (7月21日 24面)

3. 子ども蚊学教室

8月4日の「子ども蚊学教室」は、蚊に興味を持つ小中学生に、より深く蚊の生態や分類について学んでもらい、蚊媒介感染症にも興味を持ち、感染症の予防やコントロールの重要性に気が付いてもらうことを目的として開催されました。長崎県内を中心に日本各地から約80名の応募があり、当日は抽選で選ばれた35名の小中学生が参加しました。

開講式の後、参加者は年齢別に3班に分かれ、班ごとに3つの活動群（顕微鏡観察、野外観察、ミュージアム）を40分ずつ回りました。

グローバルヘルス総合研究棟3階実習室では、顕微鏡を使ってヒトスジシマカとコガタアカイエカの成虫を観察しました。あまりに身近でじっくり見る機会の少ない「蚊」ですが、顕微鏡を使って口吻の構造や体の色、模様などを観察することができました。子ども達は、実習を通して蚊の形態的な特徴を学び、ヤブカとイエカを区別できるようになり、また、それぞれの雌雄の区別ができるようになりました。

野外ではキャンパス構内を散策しながら、前日に仕込んでおいた産卵トラップに産み付けられた卵を観察したり、古タイヤにたまった水の中にいるボウフラやさなぎを見つけて回ったりして、蚊が増殖する環境を確認することができました。また、仮設ミニ水田も観察し、それぞれの蚊に適した生息地の条件や、天敵の存在、生態系ということを考えるきっかけになりました。

熱帯医学ミュージアムでは、マラリアやリンパ系フィラリア症などの貴重なサンプルや映像を見ながら、蚊が運ぶ病気や熱帯病について学びました。

最後に、閉講式で参加した子ども達全員に『蚊博士認定書』と『イベントロゴ缶バッジ』が手渡されました。式の後、子ども達はとても誇らしげに、そして嬉しそうに認定書を手にして記念撮影に収まりました。約三時間という長時間の教室であったにもかかわらず、参加した子ども達は最後まで真剣に集中してそれぞれの活動に取り組み、たくさんの知識を吸収してくれました。

このイベントは、参加者が今まで以上に蚊や感染症、そして科学全般に対する興味を持つきっかけになったのではないかと考えます。

蚊学教室タイムスケジュール

かいこうしき 開講式 9:00 - 9:20 坂本キャンパス ポンペ会館セミナー室		かいこう ひらやま ・開講のあいさつ (平山先生) きょう べんきょう せつめい ・今日勉強することの説明 しやうがい ・チューターの紹介		
じっしゅう 実習	黄 グループ	緑 グループ	青 グループ	
①	9:30 - 10:10	やがいかんさつ 野外観察	ミュージアム	けんびきょうかんさつ 顕微鏡観察
②	10:15 - 10:55	ミュージアム	けんびきょうかんさつ 顕微鏡観察	やがいかんさつ 野外観察
③	11:00 - 11:40	けんびきょうかんさつ 顕微鏡観察	やがいかんさつ 野外観察	ミュージアム
へいこうしき 閉講式 11:45 - 12:00 坂本キャンパス ポンペ会館セミナー室		かはかせ にんていしょう じゅよ ・“蚊博士認定証”の授与 へいこう いちもり ・閉講のあいさつ (一盛先生) きんぎゅう ・アンケート記入		

当日の様子



開講式



二種類の蚊を観察しますよ～



はじめての顕微鏡



虫よけの正しい使い方



野外の産卵トラップ



古タイヤの水溜りには…



ミュージアムツアー



感染症の話



閉講式



蚊博士に認定します！



参加者記念撮影

参加者の感想（アンケートより抜粋）

- ・ かにしゆるいがあるとはじめてしりました
- ・ オスのかがやばいと思ったけどメスがやばかった
- ・ ヒトスジシマカは、せまいところにたまごをうんで、コガタアカイエカはひろいところにたまごをうむことがわかった
- ・ 蚊の病気がとても怖いとわかった。蚊のしくみなどもわかった。
- ・ 昼の蚊と夜の蚊の違いやオス、メスのちがいを実際に見ることができてためになったと同時に楽しかったです。
- ・ 3つのエリアにわかれていて、とても楽しかったです
- ・ 蚊の卵を初めて見ました。
- ・ ミュージアムに初めて行きました。存在を今まで知らなかったです。日を改めてじっくりみに来たいです。
- ・ 身近でやっかい者と思っていなかった蚊について、こんなに詳しく知る機会はありませんでした。とてもおもしろかったです。蚊の研究から病気を治す薬や治療法がもっともっとすすみ、世界で死亡する人が減ればいいなと思いました。
- ・ 昼と夜の蚊がちがうこと、日本には100種類以上の蚊がいること、蚊の見分け方など大変興味深く勉強できました
- ・ 熱研がどんなところか知りたかったのでよかったです